

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

瀬戸内共同火力株式会社 福山共同発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

(3) 業種

3311 発電所

2 計画の期間

本計画の期間は、平成2年度（1990年度）を基準とする平成23年度（2011年度）から平成27年度（2015年度）までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成2年度	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	233,103	205,720 11.7	211,689 9.2	242,958 -4.2	229,389 1.6	229,775 1.4	
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素	1	5 -	7 -	8 -	7 -	6 -	
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	233,104	205,725 11.7	211,696 9.2	242,966 -4.2	229,396 1.6	229,781 1.4	
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成26年度は他の電力会社への電力需給対応による焚増重油量が減少したが、発電所全体の稼働率が低し、原単位が上昇した。その結果温室効果ガスの排出量は前年並みとなった。また、目標年度の重油予想消費量31,000 k l に比べ実績の重油消費量は電力需給対応等により約68,000 k l と大きく、温室効果ガス排出量が削減目標値を達成できなかった。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((d) - (a)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成2年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成27年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位(原油換 算kl)	0.2621	0.2435 7.1	0.2539 3.1	0.2511 4.2	0.2448 6.6	0.2470 5.8	
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	送電端熱効率の向上	—	<ul style="list-style-type: none"> ・定期事業者検査工期の短縮 ・所内電力の削減 ・効率向上対策工事の実施
2	重油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ H 2年度 60,666 KL ・ H22年度 56,073 KL ・ H23年度 140,394 KL ・ H24年度 208,367 KL ・ H25年度 119,074 KL ・ H26年度 67,853 KL ・ H27年度 (目標) 31,000 KL 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保炎用重油量の削減 ・ 製鉄所保安電力の低減
3	電気使用量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷房度28℃、暖房温度20℃の徹底 ・ エアコン設置時は、省エネタイプを導入 ・ 不要時消灯の励行
4	自動車燃料使用量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの徹底 ・ アイドリングストップの徹底

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	該当項目はありません	
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別資源化の徹底 ・ リサイクル品の全量回収
2	用紙の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ O A活用によるペーパーレス化の促進 ・ 裏面使用、両面コピーの促進
3	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生紙、再生品の使用の拡大 ・ エコマーク、グリーンマーク商品の活用

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。